

**市民活動分野 政策 3 「市民文化活動の推進」**

**1 目指す姿**

市民の文化芸術に対する意識が高まり、魅力ある市民文化活動が活発に行われている。

- 市民が多様な文化芸術に触れる機会が多く設けられ、市民の文化芸術に対する意識が高まるとともに、若手芸術家や文化団体等の活躍の機会が充実している。
- 文化芸術を通じてすべての人に社会参画の機会が開かれている。

**<課題解決が進まない場合>**

市民の文化芸術に対する関心が高まらず、市民文化活動が停滞する。

- 市民が文化芸術に触れる機会が減少し、市民の文化芸術への関心が高まらない。また、若手芸術家や文化団体等の活躍の機会が少なくなり、若手芸術家等の他都市への流失が起こるなど、文化芸術を支える人材が不足する。
- 文化芸術によって社会に参画できる人が限られている。

**<参考> 現状分析・社会潮流 (※基本構想原案には、重視すべき項目を中心に抜粋して記載)**

		好影響	悪影響
内部環境 (地域特性)	強み (十)	① 世界文化遺産・姫路城の存在により、市民が歴史や文化を意識する機会に恵まれている ② ル・ポン国際音楽祭の開催により、市民が世界的な演奏家の演奏等に触れる機会に恵まれている ③ 姫路市文化国際交流財団の芸術監督と音楽プロデューサーが市の総合的な文化芸術振興の役割を果たしている ④ 市民の文化活動に利用できる施設が多い ⑤ 2021年に多彩な舞台芸術に対応した文化コンベンションセンターが開館	① 子どもや若い世代が関心を持つ催しが少ない ② 若手芸術家等の活躍の機会が少ない ③ 文化に関する催しや活動団体等の情報発信が十分でない ④ 文化施設や設備の老朽化が進んでいる
	機会 (十)	① 国における文化芸術に関する法整備 (劇場法の制定、文化芸術基本法の改正等) ② 国における文化芸術を通じた社会参画の促進と多様性のある社会形成に向けた取組 ③ 国における東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機とした文化プログラムの推進	① 少子高齢化による文化芸術を支える人材不足 ② 文化芸術のハード・ソフトともに大都市に集中している

**2 目指す姿を実現するための方向性**

**<参考> 現総合計画の施策 [第 4 次実施計画の該当ページ]**

- A 多様な市民文化活動の促進 [P75]
- B 新たな市民文化が育つ環境の充実 [P76]
- C 市民文化の交流促進と情報発信 [P77]
- D 文化拠点施設の充実と活用 [P78]

**3 市民、地域、企業・団体に期待すること**

※ 姫路市まちづくりと自治の条例に規定する基本原則 (協働の原則) に基づき、市民、地域、企業・団体それぞれの主体にまちづくりにおける協働をお願いするもの。

**(審議会において) ご意見をいただきたい事項**

- 1 「目指す姿」について
- 2 「目指す姿を実現するための方向性」について  
 <主な検討課題>
  - ア 子どもや若い世代、社会的に困難を抱える人等が文化芸術に親しむためには?
  - イ 若手芸術家の活躍の機会を増やすためには?
  - ウ 文化芸術に対する市民の関心を高めるには?
- 3 「市民、地域、企業・団体に期待すること」について